

〔A類学校教育選修 対象〕

## 小論文 解答例

令和4年度

一般選抜前期

私費外国人

帰国生

問Ⅰ この文章は「教えない教師」と題されたものの一部である。著者は、学校で「教える」ということの重要性を論じているが、著者がそのように考えた理由について、この文章の内容に即して四〇〇字以内（句読点等を含む）で説明しなさい。

〔出題意図〕

「教える」ということをしない教師が多くいることを問題視し、学校における教師の役割のあり方を「教える」という観点から論じた出題文を読み、そこで取り上げられている生活の場である家庭との比較から、著者の考える学習の場である学校の特徴を理解し、教師の教室での指導や役割のあり方を考察し、表現することができるかをみる問題である。

〔採点のポイント〕

出題文では、著者の考える「学習室」としての学校・教室のあり方と、「生活の場」としての家庭のあり方が比較され、説明されている。この両者の違いが理解されているかが採点の第一のポイントとなる。さらに、著者が言う、「教えない」教師や「検査室」としての学校の問題性を理解し、「教える」教師のあり方を正しく理解できているか、また、著者の言う、学校で「教える」ことの子どもの学習にとっての重要性について、著者の考えを読み取り、適切に表現できているかが第二のポイントとなる。誤字・脱字・判読不能な文字がないか、指定の字数は守られているかも採点の対象となる。

問Ⅱ 著者は、この文章の後に、『教える』ということとは、『読むこと』を教えることですから、最初に文章を読む感動、その感動をもって学習にはいらなければなりません。」と述べている。小学校の場合、「読むこと」を教えること以外に、「感動をもって学習にはいる」ということについて、どのような教育のあり方が想定できるか、具体例を挙げ、六〇〇字以内（句読点等を含む）で論じなさい。

〔出題意図〕

出題文で主に論じられていた「読むこと」を教えること以外に、子どもが「感動をもって学習にはいる」ための小学校教育のあり方について、自分自身で具体的に思考し、判断し、表現することができるかをみる問題である。

〔採点のポイント〕

教師が「教える」ことを通じて、子どもが「感動をもって学習にはいる」ような教育について、小学校の教育がもつ固有の特徴も踏まえながら、小学校での教育場面を豊かに想像し、授業や授業外の教育を通して、具体的に説得力のある表現で説明できているかどうか、第一のポイントとなる。また、子どもの学習状況の課題の把握の重要性についても理解し、指導のあり方を構想しているかが第二のポイントとなる。誤字・脱字・判読不能な文字がないか、指定の字数は守られているかも採点の対象となる。